

学級活動指導案

議題「学級目標達成に向けた取組を考えよう」〔学指要領：(1)ア〕

令和〇年〇月〇日（〇） 第〇校時 〇〇室
〇〇立〇〇中学校 3年〇組 〇名 指導者 〇〇 〇〇

I 議題の構想

1 育成を目指す資質・能力及び生徒の実態

	資質・能力	生徒の実態
知識及び技能	・学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ て解決することや、他者と協働して取り 組むことの大切さについて理解し、合意 形成の手順や、活動の方法を身に付ける ようにする。	・学級目標の達成度を毎月振り返り、改善方 法を学級会で主体的に話し合ったり、係や 委員会の活動に責任を持って取り組んだり するなど、学級の仲間と協働する大切さ について理解している。 ・「みんなもよく、自分もよい」取組を合意 形成するための手順が定着している。
思考力、判断力、 表現力等	・学級や学校の生活をよりよくするための 課題を自分事として捉え、解決するた めに話し合い、多様な意見を生かして合意 形成を図り、協働して実践することがで きるようにする。	・話し合いにおいて、自分なりの意見を持ち、 多様な意見を基に合意形成を図ることが できる。 ・多くの生徒が学級をよりよくするために、 話し合いで決まったことに対して、自分 なりに取り組む姿が見られる。
学びに向かう力、 人間性等	・生活上の諸問題の解決や、協働し実践 する活動を通して身に付けてきたことを 生かし、学級や学校における人間関係を よりよく形成し、他者と協働しながら日 常生活の向上を図ろうとする態度を養 う。	・様々な学校行事に協力して取り組んだり、 学級活動で合意形成したことを実践して きたことで、他者と協働しながら日 常生活の向上を図ろうとする態度が身 に付いてきている。

2 評価規準

知識・技能	○学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ て解決することや、他者と協働して取り 組むことの大切さについて理解し、合意 形成の手順や、活動の方法を身に付け ている。
思考・判断・表現	○学級や学校の生活をよりよくするた めの課題を自分事として捉え、解決す るために話し合い、多様な意見を生か して合意形成を図り、協働して実践 している。
主体的態度	○生活上の諸問題の解決や、協働し 実践する活動を通して身に付けたこと を生かし、学級や学校における人間 関係をよりよく形成し、他者と協働 しながら日常生活の向上を図ろうと している。

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 ※別紙参照

4 議題選定の理由

本学級の生徒は、「尊重」「全力」「成長」そして「進路実現」というキーワードを基に、学級目標を4月当初に作成した。毎月、学級目標の達成度について振り返り、成果や課題を基により良い学級について話し合ってきた。そのため、生徒たちは日頃から学級目標を意識し、他者と協働しながら日常生活や様々な学校行事に取り組もうとする姿勢が身に付いてきている。そのような生徒たちが、三者面談を終え、自分自身の進路決定へと向かうこの時期に、あえて学級としてできる取組について話し合い、仲間や学級全体のためにできることを考え、行動することは、これまで学級全体で取り組んできた学級目標の達成へと近付いていることを自覚することにつながる。そして、各自が学級の課題を自分事に捉え、他者と協働しながら日常生活の向上を図っていかうとする自治的能力を育成できると考え、本議題を選定した。

II 本時

1 **ねらい** 学級目標の達成に向けた学級での具体的な取組について、効果と実現性という二つの視点を基に話し合うことを通して、折り合いを付けながら合意形成できるようにする。

2 展開

<p style="text-align: center;">主な活動 予想される生徒の意識〔S〕</p>	<p style="text-align: center;">○指導上の留意点 ◆目指す生徒の姿（観点）</p>
<p>1 事前に決定した議題や提案理由を確認し、本時のめあてをつかむ。（10分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><めあて> 学級目標達成に向けた具体的な取組を決めよう。</p> </div> <p>S：進路実現という学級目標を達成するために、学級全員で受験を乗り越えるための取組を考える必要があるな。 S：今日の学級会でも、「みんなもよく、自分もよい」取組を決められるといいな。</p>	<p>○話し合いの必要性について確認し、目的意識を持って話し合いに参加できるように、計画委員が事前アンケートの結果や提案理由を提示する場を設定する。</p>
<p>2 具体的な取組を出し合う。（10分）</p> <p>S：不安な気持ちを少しでもなくすために、レクをするのはどうかな。それに、休み時間に問題を出し合ったり、勉強方法を共有したりするのは効果が高そうだな。 S：友達「不安な気持ちを共有できたら、お互いに安心できると思うから、お悩み相談会を開く」という意見は、実現性が課題になりそうだな。 S：みんなの意見を聞くと、学級の雰囲気づくりに関わる取組も大切だと感じるな。</p>	<p>○多様な考えに触れられるように、各自の考えを一覧表示で学習用端末に提示する。 ○個々の意見の特徴を捉えられるように、「効果」と「実現性」という二軸で意見を可視化し、整理することができるシンキングツールを学習用端末内に準備しておく。 ○具体的な取組に焦点化した話し合いができるように、一覧表示した意見の共通点や相違点等を見つけておくことを計画委員と事前に打合せしておく。</p>
<p>3 意見を分類したり整理したりして、共通点や相違点を比べ合う。（10分）</p> <p>S：「休み時間は勉強したい人もいる」という意見を聞くと、レクの実現性は低い気がするな。 S：勉強方法の共有は相談会の中でもできそうだな。 S：お悩み相談会はいつ、だれがやるのかを決めることで実現性を高めることができそうだな。 S：全体の意見をまとめると、不安な気持ちの解消に関する取組と学級の雰囲気づくりに関する取組の二つにまとめられそうだな。</p>	<p>○学級の雰囲気づくりに関する意見が出ないときは、事前アンケートの意見を基に、再度具体的な取組を出し合うことを計画委員から促すように助言する。 ○合意形成に向けて、班で出た多様な意見を生かせるように、教師が少数意見の中から、効果が高く実現性が低いとされた意見などについても話題に取り上げる。</p>
<p>4 効果と実現性という視点を基に、集団で合意形成を図る。（20分）</p> <p>S：受験お悩み相談会は希望者が集まって、週1回昼休みに開催することに賛成だな。 S：「みんなもよく、自分もよい」取組にするためには、授業中や休み時間に自分以外の人のことを考えて行動し、全員で雰囲気づくっていくことも大切だな。 S：効果と実現性を考えて、「相談会」と「自分以外の人のことを考えて行動する」という二つの意見を実践することに決まったよ。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆目指す生徒の姿（思）</p> <p>ワークシートの記述内容から、「学級目標達成に向けた学級での具体的な取組について、友達の見解と自分の見解を比較しながら考え、表現しているか」を評価する。</p> </div> <p>○自分たちで「みんなもよく、自分もよい」取組を決められたよさを実感し、今後の学級作りへの意欲を高められるように、多様な意見を生かしながら合意形成できたことを称賛する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><振り返り></p> <p>S：自分たちで考え、「受験の悩みを共有する相談会を開催する」と「自分以外の人のことを考えて行動する」に決めることができた。一人一人が進路実現していけるように、今日決めたことを意識し、友達と協力しながら実践していきたい。</p> </div>	

(別紙)

3 指導及び評価、ICT 活用の計画

過程	日時	主な活動	目指す生徒の姿 (観点)〈評価方法〉
事前	11/11	・計画委員が、打合せフローチャート(参考資料参照)を基に見通しを確認する。	・学級会への見通しを持ち、自分なりの意見を考え、入力・発表する等、意欲的に取り組もうとしている。 (思)(主)〈ワークシート〉
	11/14	・計画委員が、アンケート調査や学級目標の振り返りを基に議題を選定する。	
	11/18	・学級全体で議題を決定する。	
	11/18	・決定した議題に対して一人一人が自分の考えを持つ。	
	11/21	・計画委員が、学級会の進め方等について確認する。	
本時	11/25	・学級目標達成に向けた学級での取組について話し合い、具体的な内容を決定する。	※展開参照
事後	11/26	・計画委員が、学級会報告書を作成し、掲示する。	・学級会で話し合ったことや自分の役割を自覚し、友達と協働して実践している。 (思)(主)〈観察、アンケート〉
	12/ 2	・活動状況についてアンケート調査をする。	
	随時	・活動状況を振り返り、今後の活動に生かす。	

(参考資料) 打合せフローチャート

